

STU48 メンバー、「SEA SPICA（シー スピカ）」造船の現場を訪問！



2020 年、瀬戸内の島めぐり観光に特化した専用高速クルーザー「SEA SPICA（シー スピカ）」が誕生します。

STU48 は「SEA SPICA」の公式アンバサダーと、海と船の魅力と楽しさを伝えるナビゲーターである「C to Sea」プロジェクトの公式アンバサダーを務めており、今回は STU48 の福田朱里さんと中村舞さんが、せとうちパレットプロジェクトの取材として広島県尾道市の造船所「瀬戸内クラフト株式会社」を訪問しました。

瀬戸内クラフトでは 1967 年から一貫してアルミ合金製の船舶の建造が行われており、「SEA SPICA」もすべてアルミで建造されています。

「軽くてとても丈夫。船体が軽ければより速く走れ、燃費も良く、腐食にも強い。しかもリサイクルができる素材とあって、世界中から注目されています」と瀬戸内クラフトの川口さんにアルミの良さをお話いただき、STU48 の二人はアルミ製のボディに感激していました。

さらに、建造の作業は約半年という早さにも関わらず、すべて職人の手作業で行われているということにも STU48 の二人は驚いていました。

「SEASPICA」が瀬戸内の海を走り始めるのは、2020 年夏の予定です。中国運輸局はこれからも多くの方に、アンバサダーの活動等を通じて、「SEA SPICA」就航までの様子をお伝えします！

せとうちパレットプロジェクトの HP はこちら

<https://www.setouchi-palette.jp/>

